

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立港晴小	学校	児童数	31
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.80	20.80	31.21	39.65	52.25	8.97	152.00	22.25	54.11
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	18.50	17.44	40.00	40.00	42.89	9.41	133.89	13.30	56.00
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

体力合計点が男子・女子とも全国平均点より1.5～1.8ポイント上回っていることからわかる通り、多くの種目で全国平均を上回る結果となっている。特に、男子の握力・シャトルラン・50m走、女子の握力・シャトルランについては、全国平均を大きく上回っている。その中で、男子は長座体前屈、女子は立ち幅跳びの結果が全国平均を下回っている。

質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男女とも肯定的な意見が全国平均を上回っている。特に、女子は100%となっている。

その一方、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男女とも全国平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本年度の「運営に関する計画」の年度目標に対する取り組み内容として、「主体的に運動する習慣を身に着け、基礎的な体力・運動能力の向上を図る」とし、具体的指標として「児童が運動に楽しく参加できる取り組み・企画を年間2回以上実施する」を挙げ、1年間取り組みを行った。特に、冬場の体力づくりとして「耐寒なわとび」週間を設定し、児童一人一人が目標をもって活動を行うよう支援した。また、令和4年度に新設された、3分間で大なわの回数を記録する「大なわ大会」が2年目に入り、各学級でより深い取り組みを行うことができた。運動に対する興味・関心を高めることとともに、持久力・調整力の向上にもつながったと考える。来年度も1年間を通じて運動に親しむ機会を増やせるような取り組みを創意・工夫して行っていきたい。